

2021年4月1日

学生の皆さん

東北公益文科大学
学長 神田直弥

2021年度における授業の実施方針について

新型コロナウイルス感染症は山形県内において感染拡大の傾向にあり、山形市や寒河江市においては県独自の緊急事態宣言が発令されるなど、予断を許さない状況が続いています。しかし現時点において、本学が位置する庄内地域においては感染者の発生は限定的であることから、2021年度春学期は感染症予防対策を徹底することで、原則として対面による授業を開講いたします。

○2021年度春学期における授業の方針について

- ・ 新型コロナウイルス感染症活動指針をフェーズ A と定め、対面による授業を基本とします。
- ・ ソーシャル・ディスタンスを保つため各教室の収容定員を2分の1に設定します。また定期的な換気、消毒、検温など、安全に配慮した対策を行います。
- ・ 感染拡大地域を訪問した場合は一週間の健康観察を求めますが、その間はオンデマンド、またはオンラインによるリアルタイムの遠隔講義での受講ができるように対応します。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況次第では、学生、教職員の健康と安全を最優先にする観点から、履修者の多い授業から順にオンラインに切り替えます。最新の情報は電子メールおよび大学ホームページ等でお知らせします。

東北公益文科大学は、皆さんが安心して授業に臨むことができる環境を提供できるよう、万全の対策を施してまいります。皆さんにはしばらくはご不便をお掛けすることがあるかと思いますが、ご理解とご協力をよろしく願います。

以上